

2021年12月6日

森永製菓 × 太宰府市 「甘酒 九州・沖縄限定デザイン」

12月中旬 九州・沖縄限定発売

～お正月や受験に！太宰府市のPRキャラクターが登場するおめでたいデザイン～

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・太田 栄二郎）は、太宰府市とコラボレーションし、甘酒市場のトップブランドである『森永甘酒』から、「甘酒 九州・沖縄限定デザイン」を九州・沖縄で12月中旬から期間限定で発売します。

『森永甘酒』は、赤い柄に梅の花を散りばめたデザインが特徴です。そして、太宰府市は元号令和の起源となった「梅花の宴」が行われた令和発祥の都で、市の花は梅です。『森永甘酒』と太宰府市とは梅の花がシンボルというご縁があることからコラボレーションしました。

缶には、太宰府市のPRキャラクター（旅人のたびと、れいわ姫、おとものタビット）と大宰府政庁、縁起が良いと言われる梅の花、「開運祈願」をデザインしました。『森永甘酒』は、2種類の発酵素材である酒粕・米麴を使用し、酒粕の深いコクと米麴のやさしい甘み、そして米麴の粒がしっかりと感じられる「食感」「のどごし」がおいしさの特徴です。開運を祈願した本商品を美味しく楽しむことで、皆様に元気で明るい気持ちになっていただきたいとの思いが込められています。

甘酒市場の最需要期であり、お正月や受験シーズンを迎えるこの時期に本商品を発売することで、甘酒市場を盛り上げてまいります。



【森永製菓と甘酒】

森永製菓は、1969年に瓶入り、1974年10月に缶入りの「森永甘酒」を発売。以降、古くは1300年前から飲用されてきた日本の伝統飲料である“甘酒”が、皆様の暮らしにおいて“より身近な飲み物”となるよう、様々な形態や味の甘酒の発売、甘酒の健康価値の研究などにより甘酒需要の拡大に取り組んでまいりました。

今年、2021年9月に、甘酒缶を47年振りにデザイン刷新。TVCMやキャンペーンでは、甘酒缶が2種類の発酵素材「酒粕」「米麴」を使用しているという健康価値を訴求しています。コーポレートメッセージに「おいしく、たのしく、すこやかに」を掲げる森永製菓は、これからも甘酒の、おいしさや健康価値を探究し、健康的なライフスタイルの発展に寄与してまいります。

■POP例



■商品概要

商品名	甘酒 九州・沖縄限定デザイン
商品特長	<ul style="list-style-type: none"> ・2種類の発酵素材である酒粕・米麴を使用。厳選された国産の酒粕と米麴をこだわりの比率でブレンドしました。酒粕の深いコクと米麴のやさしい甘み、そして米麴の粒がしっかりと感じられる「食感」「のどごし」もおいしさの特徴です。 ・太宰府市のPRキャラクター（旅人のたびと、れいわ姫、おとものタビット）と太宰府政府、縁起の良い梅の花、「開運祈願」をデザイン ・アルコール分1%未満
名称	清涼飲料水 甘酒
内容量	190g
参考小売価格	125円（税別）/135円（税込）
発売日	2021年12月中旬より順次切り替え ～ 2022年1月予定
発売地区	九州・沖縄地区（一部ルート除く）
JANコード	4902888556081